



まっくでは、跳び箱が跳べないのは運動能力がないのではなく、恐怖心という精神的な問題であることを発見しました。さらに子どもの行動と性格について観察を続けることで「生まれ順で性格に類似性」があることが分かりました。子育ての参考になればとその代表的な項目を紹介します。

第一子(最初に生まれた子●○、●○○、一人っ子●)



- ①理論思考型
- ②伸び方は標準型、ジャンプ禁止
- ③自己中心でマイペース
- ④整理整頓は得意
- ⑤叱るより褒めると伸びる
- ⑥おっとりしている(のろま)
- ⑦忘れ物は段々しなくなる
- ⑧内弁慶、慣れるまで自分を出せない
- ⑨ひとつひとつ済ませないと気が済まない
- ⑩時々大きなポカをする

中間子(上下に兄弟姉妹がいる子○●○、上下が亡くなっている場合も×●○、○●×)



- ①システム思考型
- ②伸び方は遅咲き型
- ③まとめ役に向いている
- ④忘れ物をしても困らない
- ⑤外見とは逆に内面は神経質
- ⑥根暗で長時間一人で居られる
- ⑦人と人との潤滑油的な役ができる
- ⑧返事はいいが実行がともなわない
- ⑨幼児期メソメソしても厳しい方がいい
- ⑩八方美人だが根本的には妥協しない

末っ子(二人以上の一番下の子○●、上が亡くなった場合も×●)



- ①感覚思考型
- ②伸び方は早咲き型
- ③整理整頓ができない
- ④自己主張が強い
- ⑤嫉妬心が強い、競争好き
- ⑥悪いことは人のせいにする
- ⑦「ごほうび」があると頑張る
- ⑧考えがコロコロ変わる
- ⑨芸術や芸能、スポーツ向き
- ⑩3人以上で遊ぶことが苦手

育児の心構え:子どもの知らないことは教える、出来ないことは練習させる。